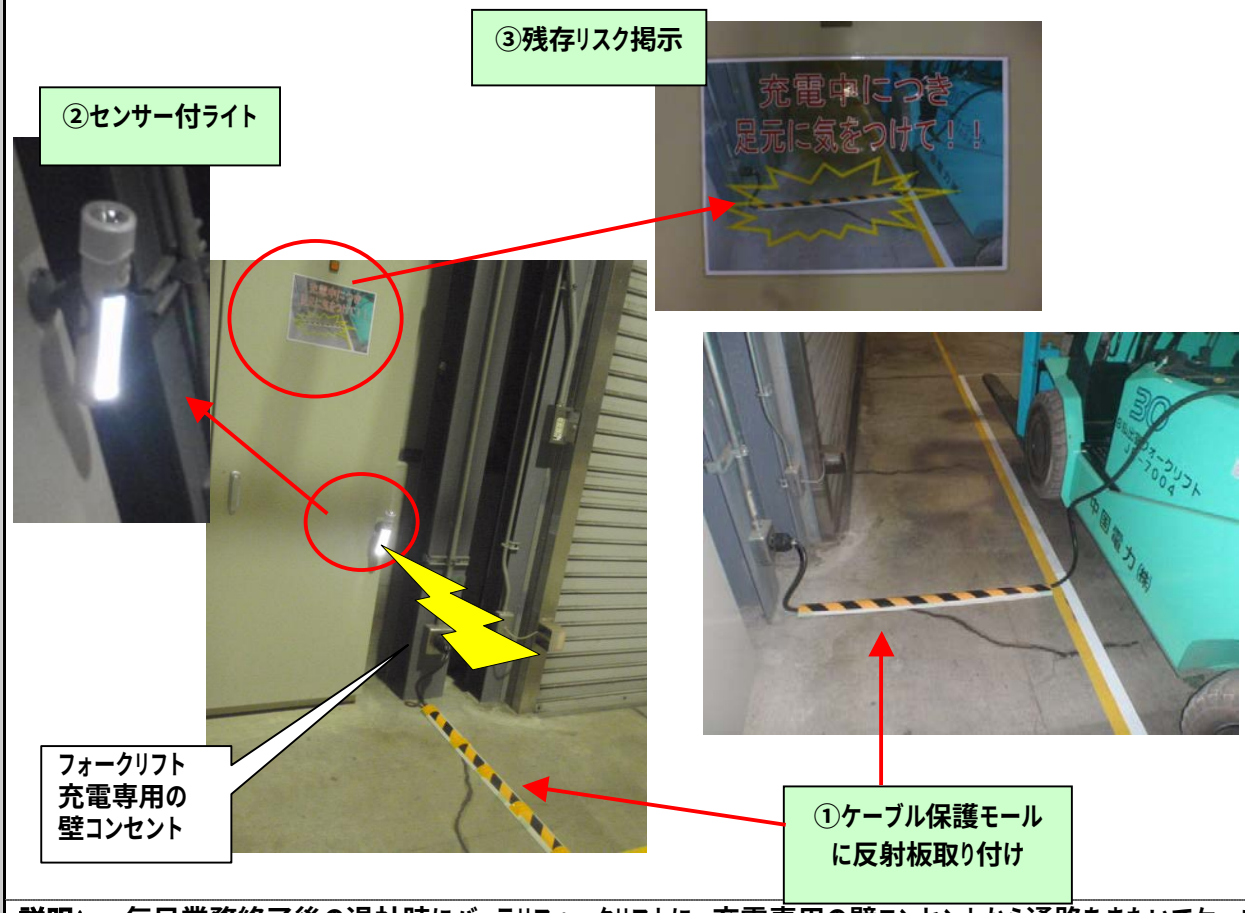
事　業　所　名	柱上変圧器リサイクル部（応募№ＲＣ１）

【タイトル】 床敷設ケーブルの危険見える化

改善後



説明： 毎日業務終了後の退社時にバッテリフォークリフトに、充電専用の壁コンセントから通路をまたいでケーブルで充電している。

危険リスクレベルを低減する目的に、フォークリフト充電時に夜間に通行してケーブルでつまずいて転倒のおそれがあるので対策した。

充電時のみ、通路上に①モール（ケーブルと一体化している）を使いケーブルにひっかかりにくくした。

夜間の場合は見えないので②センサー付きライト（￥1,450）を取り付けて、通行人が近づいたら点灯し注意を促し、また、①モール側に反射板をとりつけて視認性をよくした。

更には、現場には③残存リスクの「見える化」として注意喚起のポスターを掲示した。

改善前

説明： 業務終了後（夜間）に通路にケーブルを横断させ充電していた。

保安員の夜間巡視、他職場者が通行する時の危険リスクを考えず通路上に保護しないで敷設していた。